

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

会計業界における業界再編と寡占化の可能性

【目次】

■はじめに

■会計士業界における寡占化の歴史とその影響

■税理士業界の現状と再編の兆候

■記帳代行会社・財務コンサルティング業界への影響

■今後の業界再編シナリオ

■まとめ

■はじめに

2024年12月25日、全国の会計事務所17社が発起人となり、**一般社団法人 会計事務所連携協議会(会計連)**が正式に設立された。この動きは、会計業界の競争力向上を目的とするものであるが、同時に業界再編の前兆とも考えられる。

公認会計士業界では、過去に「ビッグ4」(PwC、EY、KPMG、Deloitte)による寡占化が進んだ。この動きは、税理士業界にとどまらず、会計事務所、記帳代行会社、財務コンサルティング業界にまで波及する可能性がある。

本論では、会計連の設立が意味するものを分析し、会計業界全体における業界再編と寡占化の動向を詳細に予測しながら、これらの変化が各分野にどのような影響を与えるのかを掘り下げる。

■会計士業界における寡占化の歴史とその影響

(1) ビッグ4による市場支配

公認会計士業界では、国際的な監査法人である「ビッグ4」が市場を独占するに至った。この寡占化の進行には以下の要因がある。

- ・規模の経済性:大量の監査案件を処理できる大手法人は、コスト削減と品質向上の両方を実現。
- ・規制強化:監査基準の厳格化により、資本力のある法人がより多くの案件を獲得。
- ・AI とデータ分析の活用:先進的なテクノロジー投資により、監査の精度と効率が向上。

この動きにより、大手監査法人が市場を支配し、中小の独立系「**公認会計士事務所**」は競争力を失う結果となった。

(2) 会計士業界の変化と税理士業界への波及

税理士業界もまた、同様の変化が進行しつつある。特に、規模の大きい法人が AI とデジタルツールを活用し、サービスの統合を進めることで、小規模事務所との差別化が加速している。

■税理士業界の現状と再編の兆候

(1) 高齢化と後継者不足

税理士の平均年齢は 60 歳を超え、多くの事務所が後継者不足に直面している。このため、M&A や統合が進む傾向にあり、

- ・大手税理士法人が地域の中小事務所を吸収する動き
 - ・独立系事務所の廃業が増加
- という現象が加速すると考えられる。

(2) AI・RPA の進化による業務の自動化

クラウド会計ソフトや AI を活用した自動記帳、申告システムの普及により、定型業務の人手依存度が大幅に低下している。この変化により、

- ・単純な記帳代行・税務申告業務の価値低下
 - ・高度なコンサルティング能力を持たない事務所の競争力低下
- が進み、大手税理士法人が市場を掌握する流れが強まる。

(3) 顧客ニーズの多様化とワンストップサービス化

企業の求めるサービスは、単なる税務申告だけではなく、M&A、事業承継、相続対策、資産管理、財務戦略アドバイスといった複合的なものへと拡大している。

こうした変化の中で、

- ・大手税理士法人がワンストップサービスを提供
 - ・小規模事務所の専門特化が求められる
- という状況が生まれつつある。

(4) **会計連**の設立がもたらす影響・・・【要】用語の解説

会計連の設立は、情報共有と標準化の進行、共通プラットフォームの活用、業界全体の統合圧力の強化といった影響を及ぼし、最終的には大手税理士法人が主導する形での業界統合が進むと予測される。

■記帳代行会社・財務コンサルティング業界への影響

(1) 記帳代行業務の自動化と淘汰

AI 技術の進化により、記帳代行業務は自動化が進み、

- ・記帳代行会社の統廃合が加速
- ・生き残る企業はコンサルティング業務へシフト

すると考えられる。

(2) 財務コンサルティングの需要増と競争の激化

M&A、資産管理、事業承継といった専門的な財務コンサルティングの需要が増加する一方、

- ・大手税理士法人の参入
- ・独立系コンサルティング会社との競争激化

が予測される。

■今後の業界再編シナリオ

(1) 税理士法人・会計事務所の統合・M&A の加速

大手税理士法人が中小事務所を吸収し、記帳代行・財務コンサルまで含めた統合型サービス企業が増加。

(2) AI 会計システムの台頭と小規模事務所の淘汰

AI による記帳・税務処理の精度向上により、小規模の記帳代行会社や会計事務所の淘汰が進む。

(3) 財務コンサル市場の寡占化

大手税理士法人が財務コンサル業務に参入し、中小の独立系コンサル会社の生存戦略が問われる時代に突入。

■まとめ

会計業界全体において、税理士業界の寡占化は、会計事務所、記帳代行会社、財務コンサルティング業界にも波及する。今後の業界再編の方向性としては、

- ・大手税理士法人・会計事務所の統合
- ・AI・RPA を活用した業務の自動化
- ・記帳代行業務の縮小と高度化
- ・財務コンサル市場の競争激化

が進むと考えられる。

この変化の中で、小規模税理士事務所や独立系財務コンサル会社が生き残るためには、特化型サービスの提供やデジタル戦略の導入が不可欠となる。業界の再編が加速する中、どのような戦略を取るかが、今後の事業存続の鍵を握るであろう。

編集長 岩下一智 (株) Tiger・HosBiz センター・ 執行役員
マーケット・クリエーター(MRC)

いかがでしたでしょうか、お楽しみいただけましたか？

次回からは
売上を 2 倍にする「買う理由作り」とブランディング
をお送りする予定です
お楽しみに！

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍&オンデマンド版

「理念経営道実戦教本」25 年 3 月中旬発売予定・・・予価：3300 円（税別）

B5 版 約 190 頁

委細は HP 等でご案内いたします。\*\*\*HP も 3 月 1 日よりリニューアルいたしました。

<https://rinenkeieidoh.com/>

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart_gaia_gi@hosbiz.net

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

<https://rinenkeieidoh.com/MailMagazine>

\*\*\*\*\*社名：変更のご案内\*\*\*\*\*  
第3の創業として、理念経営道を全身全霊をかけて普及の取組んでまいりますとともに持続可能な推進体制にするため「ティグレ社」とジョイントビジネス（JB）を組んで小規模企業・中小企業が「地域・業界No.1」となって、持続できるように「創客 伴走型経営支援」をすすめてまいります。HP をリニューアルした暁には、更に詳しくご案内させていただきますのでよろしくお願い致します

### **新社名：(株)Tigre・HosBiz センター**

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻をよろしくお願い致します。

次回、第 689 号

売上を 2 倍にする「買う理由作り」とブランディング

を、25・03・14(金)にお届けする予定ですので、楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、
私たちは「世のため・人のため」になれない。
とクルー一同尽力しております。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

- ◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫
- ◆編集長・・・・・・・・岩下一智・(株) Tigre・HosBiz センタ・執行役員
マーケット・クリエイター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieidoh.com/Members>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

お問い合わせは <https://rinenkeieidoh.com/Contact> まで

.....

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

rinenkeieidoh.com/Members

- ◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は
メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net
発行責任者：Captain 平本靖夫、
編集長：岩下一智 MRC